

製品名: NR3C1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80942**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	86kDa

抗原情報

遺伝子名	NR3C1
別名	GR; GCR; GRL; GCCR; NR3C1
遺伝子 ID	2908.0
SwissProt ID	P04150
免疫原	大腸菌で発現したヒト NR3C1 の精製された組み換え断片。

背景

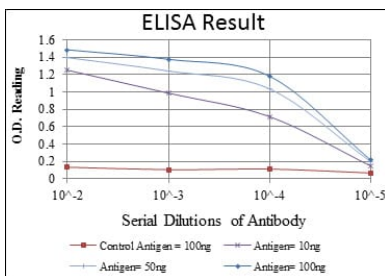
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、グルココルチコイドの受容体であり、転写因子としてだけでなく、他の転写因子の調節因子としても機能します。このタンパク質は、熱ショック因子やイムノフィリンとともに、ヘテロ多量体細胞質複合体にも存在

します。このタンパク質は通常、リガンドと結合して核への移行を誘導するまでは細胞質内に存在します。この遺伝子の変異は、グルココルチコイド抵抗性、あるいはコルチゾール抵抗性の原因となります。組織特異性：広く発現しています。心臓では、左心房、右心房、左心室、右心室、大動脈、心尖部、心室中隔、房室結節、そして成人および胎児の心臓全体で検出されます。

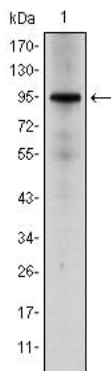
研究分野

アポトーシス

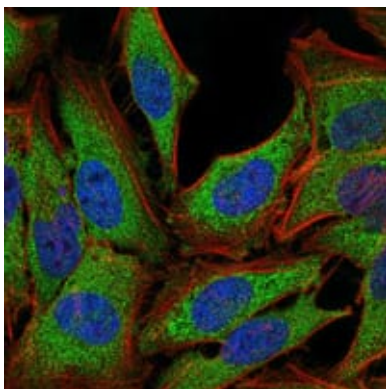
画像データ



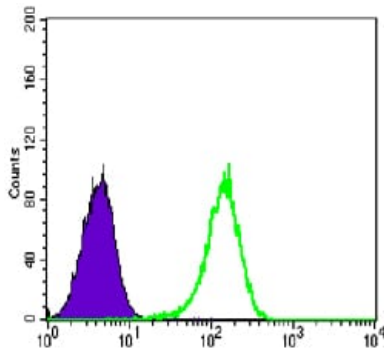
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



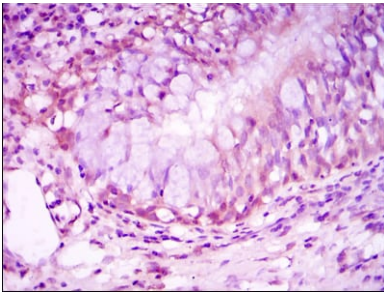
Hela 細胞溶解物に対する NR3C1 マウス mAb を使用したウェスタン プロット分析。



NR3C1 マウス mAb (緑) を用いた PC-2 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



NR3C1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



NR3C1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。